

浅野均 | 日本画

京都には大変すばらしい古典絵画が多く現存していて、身近なそれらの素材や表現は魅力的です。どうすればその高い水準の今日的な絵画表現になるのでしょうか。

上手くいかないこともあるのですが試行錯誤しながら手探りで創作しています。

大野俊明 | 日本画

京都芸大専攻科在学中から、二条城二の丸御殿障壁画模写事業に参加し現在も続けている。その理由は、古典絵画の中に共通して確認できる様式美の本質を明らかにし、自身の創作の礎とするためです。日本の古典絵画に展開される様々な造形は、二次元空間に象徴化され、様式的な美に昇華し今も我々を魅了し続けている。それは、「もの」の本質に迫る究極の「形」なのかもしれない。我創作の教えとしたい。

京都市立芸術大学退任記念

京都芸大と私たち

2020年3月7日(土) - 3月22日(日)

11:00-19:00(月曜休館)

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

中ハシ克シゲ | 彫刻

「彫刻」は何によって名付けられるのか？そして「彫刻」は何を問われ続けられてきたのか？「彫刻」の枠組みから作品を考えるのは堅苦しい。まず作品が先にあって、その後都合の良いジャンルの中に収めると気楽でいられる。本質が先にあるのか、後なのか？「彫刻」家を自負すると途端に悩ましくなるのである。更に「 」の中を芸術という言葉に置き換えると、一層深刻である。伝統と革新の共存する京都という街に移り住んで、「 」の中を日々考えるようになった。

三橋 遵 | 染織

昭和50年、墨で筆書きの合格発表。
大学紛争の嵐も去り、
三無主義のど真ん中世代でした。
極めてゆるい授業形態。
放って置かれたことに感謝。
自由で多様な創作の許容は、
何より京都芸大の気風です。
この小さな美大は大きな自由の器です。

主催：京都市立芸術大学

後援：京都市立芸術大学美術学部同窓会 象の会

